



2月は逃げる・・・時間を大切に

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言って、3学期の日々はあっという間に過ぎて行くので計画的に仕事をしていかないといけないと先輩の教員から教わったことがあります。1月は、オミクロン株による感染の急拡大で対策に追われる毎日でした。オープンスクールや6年生のバスケットボール大会の中止など、行事も大きく変更しました。保護者の皆様も不安な思いをされていることと思いますが、学校の急な変更や制限にご理解ご協力をいただいていることに感謝しています。そうこうしているうちに1月は早々に過ぎていき、2月の声を聞くようになりました。本当に早いなあと思います。1月27日より兵庫県にもまん延防止等重点措置が適用され制限はある中ですが、感染防止対策をしながら教育活動を行っていきます。ご家庭でも引き続き検温と感染防止対策をお願いします。

2月は学校保健委員会・児童会役員選挙・参観懇談(3/1)など学校行事を予定しています。また、12月に行いました「あまっこステップアップ調査」の結果が届きます。学校でも復習をしますが、家庭に持ち帰りましたら各自で習得できたところとそうでないところをしっかりと振り返ってください。生活意識調査とリンクさせながら、お子さんと一緒に話し合ってくださいとより効果が高くなります。学力は生活をより良くすることで、更に身につけていきます。今年度のことは今、習得しましょう。そうすることが次の学年への準備となり、本人の自信となります。あっという間の2月・3月。「今、できること・今、しなければならないこと」を今一度確認し、それぞれの学年のまとめができるよう学校でも取り組んでいきます。3学期は大事な時期。子どもたちにも教職員にも時間を大切にしよう伝えていきたいと思えます。

さて、1月号で「1・17を忘れない」の避難訓練についてお知らせしましたが、感染症の拡大により、オープンスクールでの避難訓練や地域避難訓練も中止となってしまいました。しかし、防災訓練は命を守るために必要な訓練です。子どもたちは地震と津波に対する授業と訓練を行いました。黙って運動場に避難、津波に備えて校舎3階に避難、その後各教室で自然災害の恐ろしさや命を守る行動について学び、考えました。震災当時2年生を担当していた私の体験したことも放送で話しました。先日の海底火山噴火による津波や大分県での地震など、いっどこで起こるかわかりませんし、起こる確率もとても高いです。自然の力には抗えません。だから、過去の経験を活かし備えておかなくてはなりません。たくさん震災に関する報道もされていますし、道徳の本などにも震災に関する話を取り上げられています。持ち帰りましたワークシートやPTAより配布されました非常食などを活用して、もしもの時に命を守れるようご家庭でも十分に話し合ってください。